

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	高齢者福祉センター森の倶楽部整備改修事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	石井 由美子			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内に住所、居住又は勤務地を有する60歳以上の市民	意図	高齢者福祉センター森の倶楽部の整備改修により高齢者の福祉の向上と増進を図る。
事業内容	森の倶楽部の利用者の利便性の向上を図るため、玄関とサンデッキを接続するものである。			
事業開始から現在までの状況変化	当該デッキ増設工事により、利用者が北側駐車場からサンデッキを経由して入館できるようになり施設の利便性が向上した。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		森の倶楽部利用者数			69891	人	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 高齢者が利用しやすい施設を提供している。						
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				1,575,440			
事業費(b)(円)				1,239,840			
うち一般財源				1,239,840			
職員給与費(c)(円)				335,600			
人役・職員(人)				0.05			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	【新規事務事業により記載なし】
今年度(H29)に実施した取組	【新規事務事業により記載なし】

取組の課題	森の倶楽部の利用者の利便性の向上を図るため、玄関とサンデッキを接続した。今後は建物及び機器の管理について適正に行なっていく必要がある。
今後の改善計画	引き続き高齢者が安心して利用できる施設を提供していく。